

# 大日精化工業株式会社

## 2022年3月期 決算補足説明資料

証券コード：4116

2022年5月13日

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



Dainichiseika

# 決算概況・連結損益計算書

単位：億円・切捨	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増減	増減率
売上高*1	1,066	1,219	+152	+14.3%
営業利益	49	74	+25	+51.3%
経常利益	56	83	+27	+48.1%
親会社株主に係る当期純利益	63	61	△1	△2.8%
EBITDA*2	97	127	+29	+30.5%
研究開発費	26	27	+1	+4.1%
海外売上高比率*3	24.5%	26.4%	-	-
1株当たり当期純利益	341.95円	333.70円	-	-
為替レート	\$ 106円 €123円	\$ 112円 €131円	-	-
ナフサ価格	32,825円	50,175円	-	-

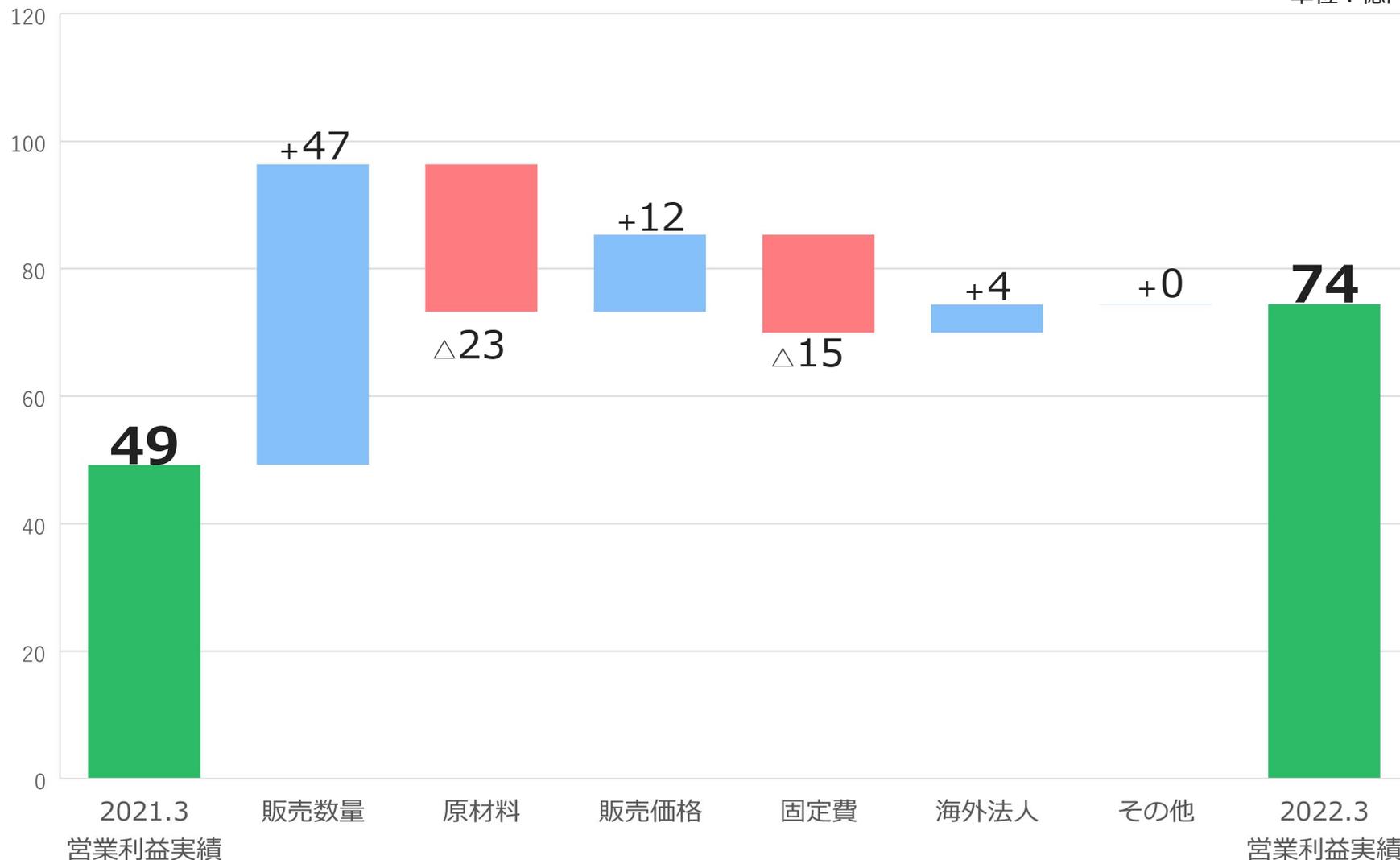
\* 1 2021年3月期売上高は、「収益認識に関する会計基準」を適用したと仮定した場合の組替後の金額であり、同基準適用前の開示売上高は1,384億円である。

\* 2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

\* 3 2021年3月期海外売上高比率は、「収益認識に関する会計基準」を適用したと仮定した場合の数値であり、同基準適用前の海外売上高比率は29.8%である。

# 決算概況・連結営業利益の増減要因 (前期・当期実績比較)

単位：億円



# 決算概況・連結財政状態

単位：億円・切捨	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前連結会計年度比 増減	前連結会計年度比 増減率
資産	1,977	1,967	△10	△0.5%
負債	940	862	△78	△8.3%
純資産	1,036	1,104	+68	+6.6%
DEレシオ	0.42	0.30	-	-
自己資本比率	51.5%	55.1%	-	-
1株当たり純資産額	5,516.08円	5,868.51円	-	-
ROA	2.9%	4.2%	-	-
ROE	6.5%	5.9%	-	-

# 決算概況・連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円・切捨	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増減	増減率
営業CF	+115	+75	△39	△34.2%
投資CF	△37	△66	△28	+76.3%
財務CF	△3	△114	△110	-
現金及び現金同等 物の期末残高	344	248	△95	△27.8%
債務償還年数*1	3.7年	4.3年	+0.6年	-
インタレスト・ カバレッジ・レシオ*2	28.4倍	22.3倍	△6.1	-

\*1 債務償還年数 = 有利子負債 ÷ 営業CF

\*2 インタレスト・カバレッジ・レシオ = 営業CF ÷ 支払利息

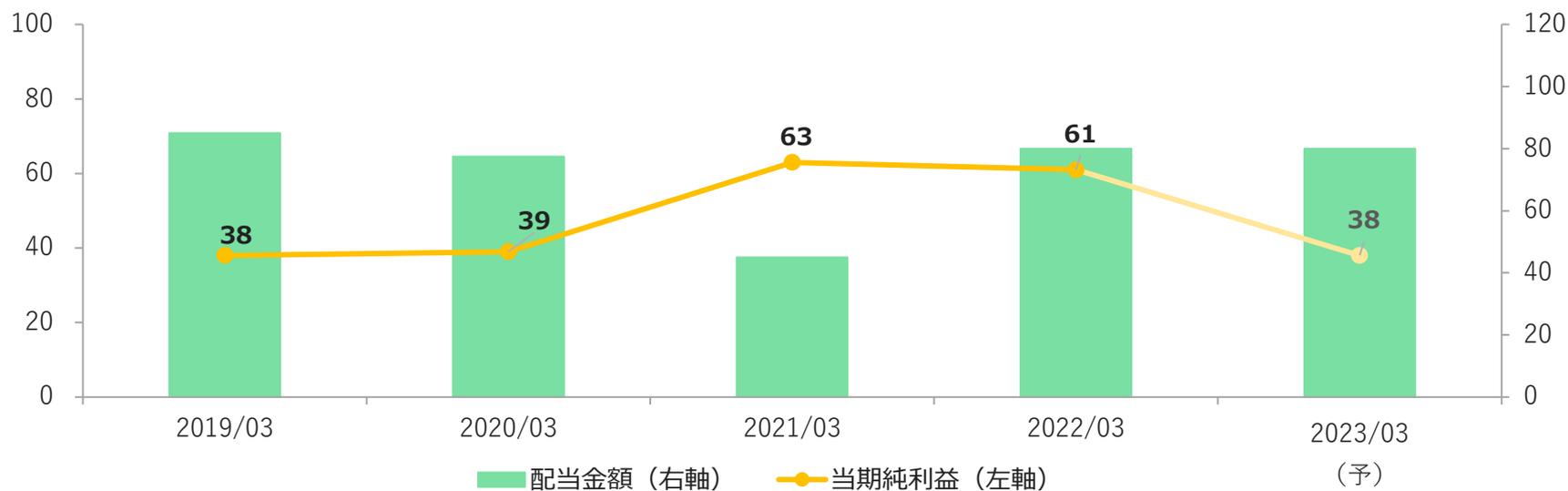
# 決算概況・株主還元（配当金）

## 【配当政策】

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の観点から、将来の事業展開、経営基盤の強化並びに内部留保の充実等の事項を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

## 【配当方針】

- ・業績に連動した安定的、継続的な株主還元を着実に実施
- ・財務体質の健全性を維持しながら、成長に向けての投資及び環境投資へ優先的に配分
- ・配当性向 2～3割程度を計画



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
1株当たり配当 (円)	85.0	77.5	45.0	80.0	80.0
配当性向	40.7%	36.2%	13.2%	24.0%	38.9%

# セグメント別概況・サマリー

売上高 単位：億円・切捨	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト	597	702	+104	+17.6%
ポリマー&コーティング マテリアル	197	236	+38	+19.3%
グラフィック&プリンティング マテリアル	268	280	+11	+4.2%
<b>売上高*</b>	<b>1,066</b>	<b>1,219</b>	<b>+152</b>	<b>+14.3%</b>

\* 2021年3月期売上高は、「収益認識に関する会計基準」を適用したと仮定した場合の組替後の金額であり、同基準適用前の売上高は1,384億円である。

## 営業利益

単位：億円・切捨

カラー&ファンクショナル プロダクト	15	49	+33	+215.8%
ポリマー&コーティング マテリアル	26	33	+6	+24.3%
グラフィック&プリンティング マテリアル	6	△8	△15	-
<b>営業利益</b>	<b>49</b>	<b>74</b>	<b>+25</b>	<b>+51.3%</b>

# セグメント別概況・カラー&ファンクショナル プロダクト

## Color & Functional Products 顔料及び顔料の2次加工製品



### 【売上高】

- ✓ 輸送業界向けのコンパウンド・着色剤は、上期はコロナ禍からの回復が続き、下期は半導体等の部品不足による自動車生産減産の影響を一部受けたが国内外ともに好調に推移
- ✓ 情報電子業界向けの顔料及び分散体は、巣ごもり特需の継続によるディスプレイ用途及びオフィス事務用途の回復により好調に推移

### 【営業利益】

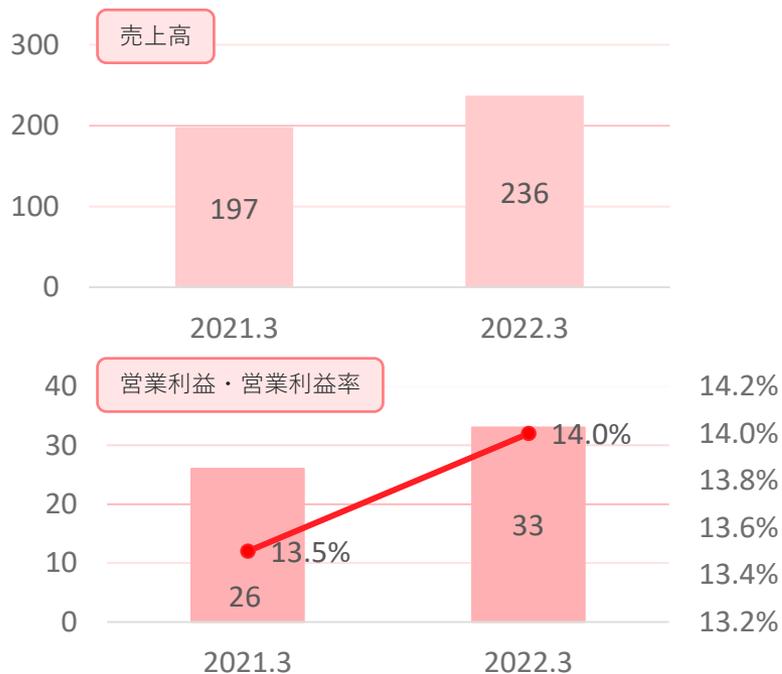
- ✓ 顔料・樹脂など原油価格上昇及び需給逼迫により原材料価格が高騰
- ✓ 原材料価格上昇に対する販売価格見直しを継続
- ✓ 旅費・交際費等の活動経費は低水準で推移

	2021.3	2022.3
EBITDA*	46	79
研究開発費	11	11
設備投資額	20	21

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

# セグメント別概況・ポリマー&コーティング マテリアル

## Polymer & Coating Materials 合成樹脂及び特殊コーティング剤



### 【売上高】

- ✓ ウレタン樹脂は、輸送機器の内装材料、産業資材向けが好調に推移、衣料品服飾品向け用途の需要が回復
- ✓ 輸送業界向けは、一部で自動車生産減産の影響を受けたが、採用車種の拡大もあり好調に推移
- ✓ 情報電子業界向けのUVコート剤は、ディスプレイ用途が好調に推移

### 【営業利益】

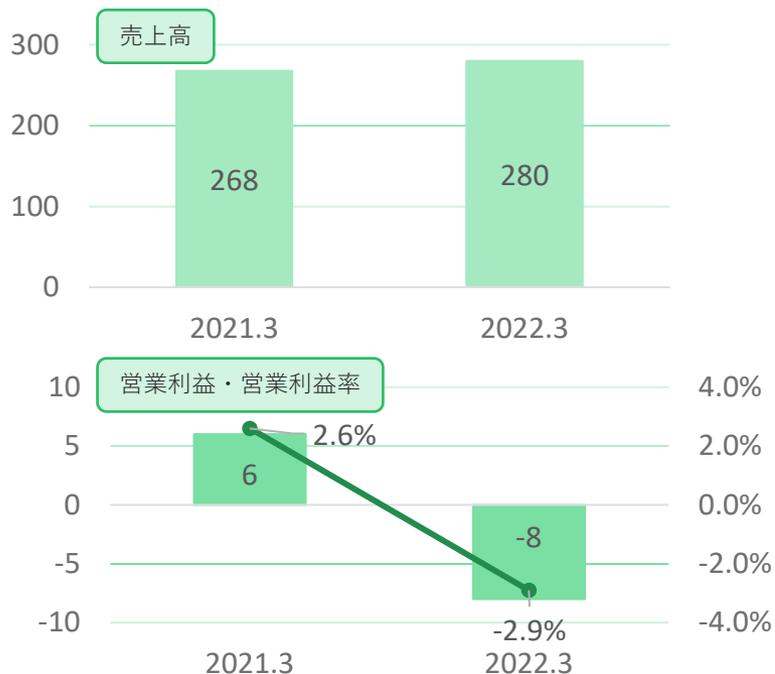
- ✓ 樹脂・溶剤など原油価格上昇及び需給逼迫により原材料が高騰も販売価格の見直しを実施し影響は限定的
- ✓ 海運等の物流網混乱等により航空便利用によるコスト負担
- ✓ 坂東製造事業所稼働開始及び佐倉テクノロジー・イノベーションセンター開設による移転費用・減価償却費等の固定費増加

	2021.3	2022.3
EBITDA*	37	45
研究開発費	6	7
設備投資額	19	10

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

# セグメント別概況・グラフィック&プリンティング マテリアル

## Graphic & Printing Materials パッケージ用及び広告出版用インキ



### 【売上高】

- ✓ 包装業界向けのグラビアインキは、国内は堅調、海外はインドネシア子会社で新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低調に推移
- ✓ 広告出版業界向けのオフセットインキは、夏場の緊急事態宣言発令の影響によるチラシ需要の低下等により低調に推移

### 【営業利益】

- ✓ 原油価格上昇によるナフサ連動資材の高騰、需給逼迫により資材価格が上昇
- ✓ 原材料価格高騰に対して販売価格の見直しを継続
- ✓ 坂東製造事業所稼働により減価償却費等の固定費増加

	2021.3	2022.3
EBITDA*	13	1
研究開発費	3	3
設備投資額	51	18

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

# 通期業績予想

単位：億円・切捨	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減	増減率
売上高	1,219	1,280	+60	+5.0%
営業利益	74	52	△22	△30.2%
経常利益	83	58	△25	△30.2%
親会社株主に係る 当期純利益	61	38	△23	△38.4%
為替レート	\$ 112円 €131円	\$ 113円 €132円	-	-
ナフサ価格	50,175円	88,000円	-	-

# 通期業績予想・セグメント別

売上高 単位：億円・切捨	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト	702	722	+19	+2.8%
ポリマー&コーティング マテリアル	236	255	+18	+8.0%
グラフィック&プリンティング マテリアル	280	302	+21	+7.8%
<b>売上高</b>	<b>1,219</b>	<b>1,280</b>	<b>+60</b>	<b>+5.0%</b>

## 営業利益 単位：億円・切捨

カラー&ファンクショナル プロダクト	49	37	△12	△24.9%
ポリマー&コーティング マテリアル	33	25	△8	△24.4%
グラフィック&プリンティング マテリアル	△8	△11	△2	-
<b>営業利益</b>	<b>74</b>	<b>52</b>	<b>△22</b>	<b>△30.2%</b>

# 通期業績予想・連結営業利益の増減要因 (当期実績・翌期予想)

単位：億円

